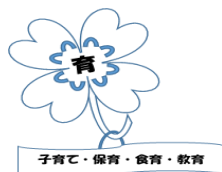


平成28年度全国学力・学習状況調査結果について (地域・保護者用)



平成28年10月作成
遠野市教育委員会

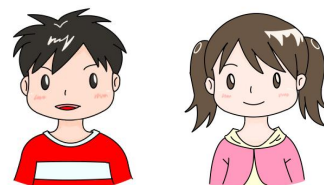
平成28年4月19日に実施された全国学力・学習状況調査の集計結果について、文部科学省から提供されたことから、地域・保護者向けに、その概略的な分析等を公表します。

1 調査の目的（実施要領から抜粋）

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査の対象とする児童生徒

- (1) 小学校調査：小学校第6学年，特別支援学校小学部第6学年
- (2) 中学校調査：中学校第3学年，特別支援学校中学部第3学年



3 調査事項（本体調査）

(1) 児童生徒に対する調査

① 教科に関する調査

小学校調査は、国語・算数，中学校調査は、国語・数学

※ 国語・算数・数学の調査は、「主に知識に関する問題 A」（以下「知識問題」）と「主に活用に関する問題 B」（以下「活用問題」）の両面から基礎・基本の定着状況について行われた。

② 質問紙調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施した。

(2) 学校に対する質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施した。

4 遠野市における公立小中学校の調査対象

(1) 調査学校数

小学校：対象校市内11校全校参加 中学校：対象校市内3校全校参加

(2) 調査人数	小学校	国語A	204人	中学校	国語A	221人
		国語B	203人		国語B	221人
	算数A	204人	数学A	221人		
	算数B	203人	数学B	221人		

5 調査実施日

調査の実施日は、平成28年4月19日（火）

6 遠野市の調査結果の概要

【留意点】

※教科に関する調査は、調査問題数や問題の内容が違うことから、過年度の調査結果と単純に比較することはできないものであること。

※本調査問題は、標準化された学力状況を問う問題ではなく、これまでの調査で見られた課題についての改善状況を把握する観点から出題された問題であること。

※地域や家庭との連携により、より教育的効果が図られる点を中心にした分析であること。

※学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるための分析及び結果の情報提供は、遠野市教育委員会から各学校へ行っているものであること。

※調査結果は、学力の特定の一部であること。

（1）教科に関する調査結果から

① 正答率等の概要

- ・ 小学校国語A問題：概ね全国平均
- ・ 小学校国語B問題：概ね全国平均
- ・ 小学校算数A問題：概ね全国平均
- ・ 小学校算数B問題：概ね全国平均（H27は「全国平均を下回る」）
- ・ 中学校国語A問題：概ね全国平均
- ・ 中学校国語B問題：全国平均を下回る（H27は「概ね全国平均」）
- ・ 中学校数学A問題：全国平均を下回る
- ・ 中学校数学B問題：全国平均を下回る

※「概ね全国平均」＝全国平均正答率の±5ポイント内

※「全国平均を上回る」＝全国平均正答率の+5ポイント以上

※「全国平均を下回る」＝全国平均正答率の-5ポイント以上



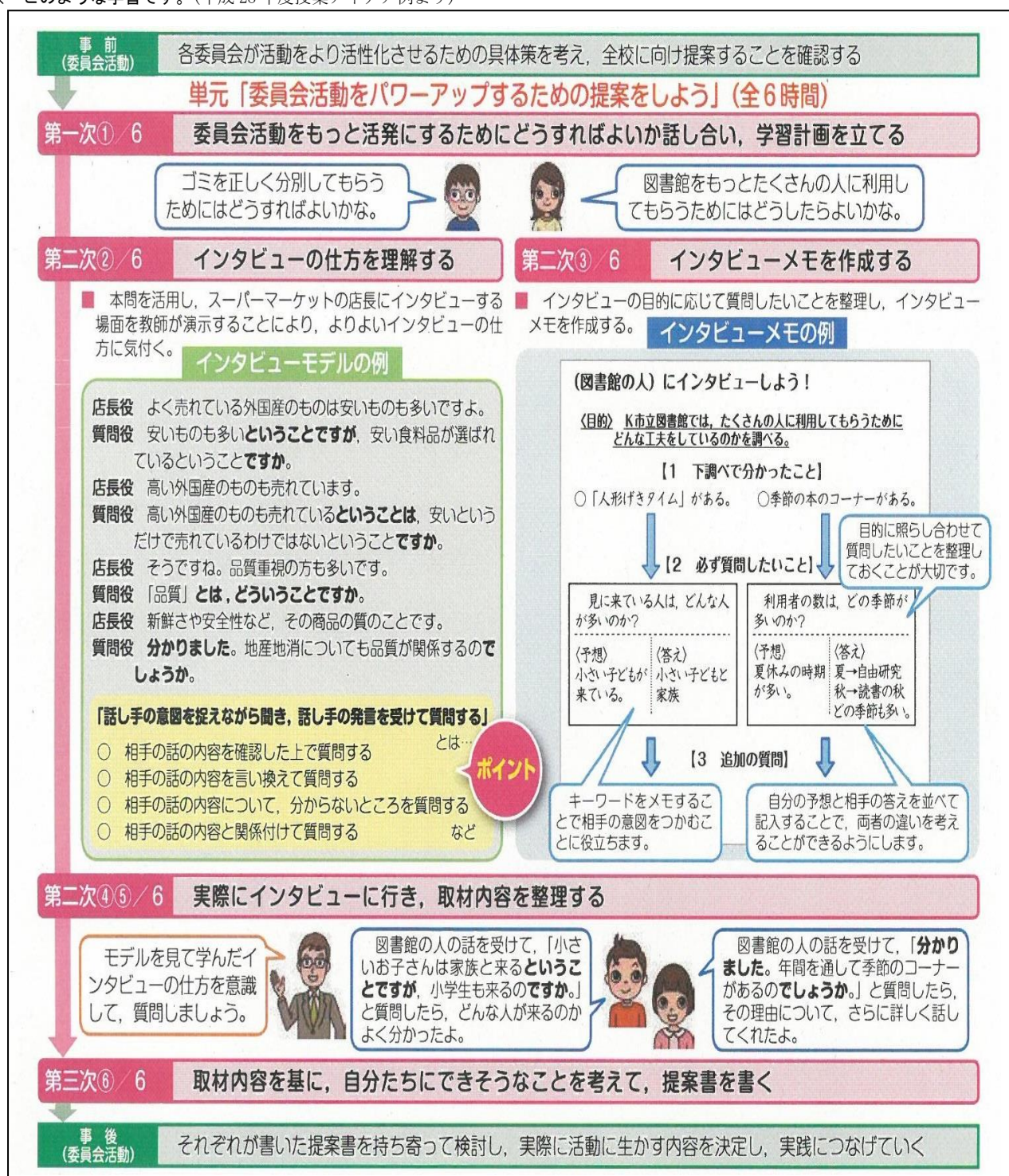
② 各教科の成果と課題

ア 小学校 国語

A問題では、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の「学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く」は、よくできています。一方、書くこと領域の「書き手の表現の仕方をよりよくするために助言する」と伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の「平仮名で表記されたものをローマ字で書く」や「ローマ字で表記されたものを正しく読む」に課題があります。

B問題では、書くこと領域の「目的や意図に応じて、表を基に、自分の考えを書く」は、よくできています。一方、※話すこと・聞くこと領域の「質問の意味を捉える」や書くこと領域の「活動報告文において、課題を取り上げた効果を捉える」に課題があります。

※ このような学習です。(平成 28 年度授業アイデア例より)



イ 小学校 算数

A問題では、量と測定領域の「三角形の底辺と高さの関係について理解している」は、よくできています。一方、数と計算領域の「除数と被除数に同じ数をかけても商は変わらないことを理解している」、数と計算領域及び数量関係領域を合わせた「示された場面を適切に読み取り、全体の人数を求める式に表すことができる」に課題があります。


B問題では、数と計算領域の※「示された条件をもとにほかの正方形について検討し、同じきまりが成り立つか調べることができる」、示された式の中の数値の意味を解釈し、それを記述できる」、量と測定領域の「示された説明を解釈し、用いられている考えを別の場面に適用して、その説明を記述できる」、数量関係領域の「示された事柄について、二つの表を基に読み取ることができない事柄を特定することができる」、数と計算及び量と測定領域の「示された条件を基にほかの正方形について検討し、同じきまりが成り立つかを調べることができる」に課題があります。

※ このような学習です。(平成 28 年度授業アイデア例より)

正方形の縦の長さを 1 cm 短くし、横の長さを 1 cm 長くすると、面積はどうなりますか。

① 1 辺の長さが違ういくつかの正方形の面積について、図や式などを用いて調べる。

② できた長方形の面積は、もとの正方形の面積より 1 cm² 小さくなることを確認する。




教師


辺の長さを 1 cm 変えると、面積は 1 cm² 小さくなりましたね。

それでは、変える長さを 2 cm にすると、面積はどのように変わりますか。


③ 場面を変えて結果を見直す。




面積は 2 cm² 小さくなるんじゃないかな。



だって、1 cm のときは 1 cm² 小さくなったからね。



すばらしいですね。辺の長さを 1 cm 変えたときのことをもとに予想したのですね。



実際に 1 cm のときと同じように調べてみよう。

正方形

7 cm 49 cm²

7 cm

↓


できた長方形

6 cm 48 cm²


8 cm

ポイント 数値や形を変えた場合どうなるかについて、子どもが意識できるようにしましょう。必要に応じて数値や形を変えるきっかけを教師が与えることも大切です。

1 辺が 7 cm のとき		1 辺が 8 cm のとき	
たて	横	たて	横
7	× 7 = 49	8	× 8 = 64
↓ 2cm 短く	↓ 2cm 長く	↓ 2cm 短く	↓ 2cm 長く
5	× 9 = 45	6	× 10 = 60
面積は 4 cm ² 小さくなる。		面積は 4 cm ² 小さくなる。	




1 辺が 9 cm のときも、面積は 4 cm² 小さくなるね。



変えた長さは 2 cm なのに、なぜ面積は 4 cm² 小さくなったのかな。

ポイント 子どもが理由を説明する必要性を実感できるようにしましょう。そのためには、条件を変えても同じ結果になることに子どもが気付いたり、予想と異なる結果になったことに疑問をもったりできるように、授業の展開を工夫することが大切です。

④ 得られた結果について、そのようになる理由を考え説明する。



面積が 4 cm² 小さくなる理由について考えてみましょう。

ウ 中学校 国語

A問題では、伝統的な言語と文化の特質に関する事項の「文脈に即して漢字を正しく書く（大学で歴史のケンキウをする）」は、よくできています。一方、話すこと・聞くこと領域の「目的に応じて資料を効果的に活用して話す」、書くこと領域の「集めた材料を整理して文章を構成する」や※「伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く」、読むこと領域の「奥付を使って本についての情報を得る」、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の「文の成分の照応について理解する」、「文字の形や大きさ、配列に注意して書く」に課題があります。

B問題では、読むこと領域の「文章の中心的な部分と付加的な部分とを読み分け、要旨を捉える」、「文章の展開に即して内容を理解する」、書くこと及び読むこと領域の「本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く」に課題があります。

※ このような学習です。（平成28年度授業アイデア例より）

授業アイデア例

- 1 学校図書館に置いてほしい図書について、担当の教師に要望する文章を各自で書く。
- 2 書いた文章をグループで読み合い、自分の考えや気持ちが効果的に伝わる文章になっているかどうかを検討する。

〔要望する文章の例〕

要望を四角で囲み、その根拠となる部分に下線を引いて検討しましょう。

先日、人工知能のニュースを見てもっと詳しく知りたいと思い、学校図書館に行きました。しかし、詳しく取り上げている本がなく、学校図書館に科学雑誌があったらいいなと思いました。月刊の雑誌には新しい話題が取り上げられているし、科学雑誌を置いてほしいと思っている人は多いです。科学雑誌がそろっていると、理科や技術・家庭科の学習などで疑問に思ったことを調べる際にも役立ちます。



教師

何を要望しているのか、分かりにくいのではないかな。

「科学雑誌を置いてほしいと思っている人は多い」とあるけれど、「多い」というのは本当なのかな。

理科や技術・家庭科の学習などでも役に立つことが書かれているのはよいと思うよ。

- 3 必要に応じて、具体的にどのように修正すればよいかをグループで交流する。

まず、要望をはっきり述べるとよいのではないかな。

生徒のアンケート結果を示すと分かりやすくなるのではないかな。

自分だけではなく、皆のためにもなることを根拠として示すと、担当の先生に納得していただけると思うよ。

- 4 自分の考えや気持ちが効果的に伝わる文章を書くための観点について、各グループで意見をまとめて発表する。

皆さんの意見をまとめると、次のような観点到留意するとよさそうですね。

- ・自分の考えや気持ちとその根拠が読み手に分かりやすく書かれているか。
- ・根拠は自分の考えや気持ちを支えるものになっているか。
- ・読み手を意識した内容が示されているか。



教師

- 5 各自で文章を見直し、完成させる。

〔書き直した文章の例〕

学校図書館に月刊の科学雑誌を置くことを希望します。
学級でアンケートをとったところ、約70%の生徒が科学雑誌を置いてほしいと回答しています。月刊の雑誌には新しい話題が取り上げられているので、本の内容に興味をもつ生徒も多いはず。また、科学雑誌がそろっていると、理科や技術・家庭科の学習などで疑問に思ったことを調べる際にも役立ちます。

本授業アイデア例 活用のポイント!

- 書いた文章について検討する際には、これまでに学習した推敲の観点を踏まえるように指導することが大切である。また、生徒の実態に応じて、④で例示しているような観点を事前に示すことも考えられる。
- 事実を基に考察したことを伝える文章など、他教科等の学習で書いた文章を用いて検討する学習活動も考えられる。

参照 ▶ 「平成28年度 報告書 中学校 国語」P.35～P.38、「平成28年度 解説資料 中学校 国語」P.24～P.28

エ 中学校 数学

A問題、B問題ともに、課題のある問題が多くあります。

A問題では特に、数と式領域の「分数と小数の乗法の計算ができる」、図形領域の「円錐の体積は、それと底面が合同で高さが等しい円柱の体積の $1/3$ であることを理解している」、関数領域の「比例の式について、 x の増加に伴う y の増加量を求めることができる」などに大きな課題があります。

B問題では特に、数と式領域の「与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、数量の関係を数学的に表現することができる」、図形領域の「筋道を立てて考え、証明することができる」、関数領域の「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる」、資料の活用領域の※「資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる」などに大きな課題があります。

※ このような学習です。(平成 28 年度授業アイデア例より)

あるボウリング場では、貸し出し用の靴を全て買い替えます。
どのサイズの靴を多く買えばよいか考えましょう。

〈1時間目〉

1. 問題解決の見通しを立てる。



教師

どのサイズの靴を多く買えばよいと思いますか。



私の友達は 23 cm ぐらいの靴を履いている人が多いから、23 cm 前後のサイズを多く買えばいいんじゃないかな。



色々なお客さんがいるから、どのサイズも同じ数ずつ買えばいいと思うな。



貸し出された靴のサイズの平均を調べればいいよ。



多く貸し出されているサイズを多く買うべきだね。貸し出しの記録の回数を調べてみよう。

2. データを読み取り、資料の傾向を調べる。



12月の貸し出し状況のデータを基に考えてみましょう。

貸し出された靴のサイズの平均値は何 cm かな。



平均値は 24.5 cm です。

靴のサイズと貸し出された回数の関係 (12月)			
貸し出された総数は 7260 回			
20.0 cm 未満は 0 回			
20.0 cm…	26 回	23.0 cm…	913 回
20.5 cm…	54 回	23.5 cm…	524 回
21.0 cm…	111 回	24.0 cm…	414 回
21.5 cm…	213 回	24.5 cm…	182 回
22.0 cm…	405 回	25.0 cm…	474 回
22.5 cm…	661 回	25.5 cm…	1087 回
		28.0 cm…	62 回
		28.5 cm 以上は 0 回	

平均値は 24.5 cm だから、24.5 cm の靴をたくさん買えばいいんじゃないかな。

最頻値は 25.5 cm だね。

中央値を求めると 25.0 cm だね。

だけど、23.0 cm も多いよ。全体の様子をみた方がいいね。



全体の様子をわかりやすくするためには、どのような方法がありますか。

ポイント



グラフにまとめてみよう。

グラフにまとめると全体の様子がわかりやすくなりそうだね。



(2) 児童・生徒質問紙調査結果から

① 概要

小学校、中学校共に全国の肯定的回答を上回った項目は、67項目中39項目ありました(下記②参照)。家族や地域の一員として生活し、学校へも楽しく通う、優しさあふれる小・中学生であることが分かります。

読書に関しては、小中学生とも「読書が好き」という肯定的回答が全国よりも多い状況で、「読書を全くしない」という回答は全国よりも少ない状況です。(下記③参照)

小学生の学習面においては、国語や算数の勉強が将来社会に出たときに役立つものであると思っている児童が多い状況です。また、国語の授業、算数の授業が「分かる」と回答している児童は全国を上回っています。家庭で過ごす時間の使い方においては、普段の家庭学習の時間については、2時間以上学習している児童が、全国で約26%ですが、遠野の児童は12%程度です。普段のテレビ等の視聴時間については、2時間以上の児童が全国では約57%ですが、遠野の児童は約69%で、全国よりやや多い状況にあります。(下記④参照)携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットの使用時間については、1時間以上使用している児童が、全国では約19%ですが、遠野の児童は約11%で、昨年度よりも8ポイントほど減少して全国に比べて少なくなりました。(下記④参照)

遠野の小学生の良さが全国と比較して顕著に表れた項目(「当てはまる」等の回答が、全国を5ポイント以上上回った生活面、ものの見方・考え方、行動に関する項目)は、「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」、「家で、学校の授業の復習をしている」、「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある」、「地域の行事に参加している」、「ボランティア活動への参加」「新聞を読んでいる」などです。全国を5ポイント以上下回った項目はありませんでした。

中学生の学習面においては、小学生同様、国語や数学の勉強が大切だと思っている生徒が全国に比べて多い状況です。しかし、数学の授業が「分かる」と回答している生徒は、全国に比べて下回ります。家庭で過ごす時間の使い方においては、普段の家庭学習の時間については、2時間以上学習している生徒が全国で約34%ですが、遠野市の生徒は16%程度です。(下記④参照)遠野の中学生は、全国に比べて家庭学習の習慣が身につけていますが、取組の時間は短い傾向にあります。普段のテレビ等の視聴時間については、3時間以上の生徒が全国では約24%ですが、遠野市の生徒は約31%で、全国よりやや多い状況にあります。(下記④参照)しかし、昨年度に比べると、遠野の生徒は約3ポイント減少しており、改善傾向が見られます。携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットの使用時間については、2時間以上使用している生徒が、全国では約30%ですが、遠野市の生徒は約32%で、やや多い状況にあります。(下記④参照)

遠野の中学生の良さが全国と比較して顕著に表れた項目(「当てはまる」等の回答が、全国を5ポイント以上上回った生活面、ものの見方・考え方、行動に関する項目)は、「家で学校の宿題や授業の復習をしている」、「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある」、「地域への行事の参加」などです。(下記②④参照)。また、全国と比較して今後考えていきたいと思われる項目(「当てはまる」等の回答が、全国を5ポイント以上下回った項目)は、「家で、計画を立てて勉強する」、「家で、学校の授業の予習をする」です。



② 小学校・中学校共に全国の肯定的回答を上回った項目

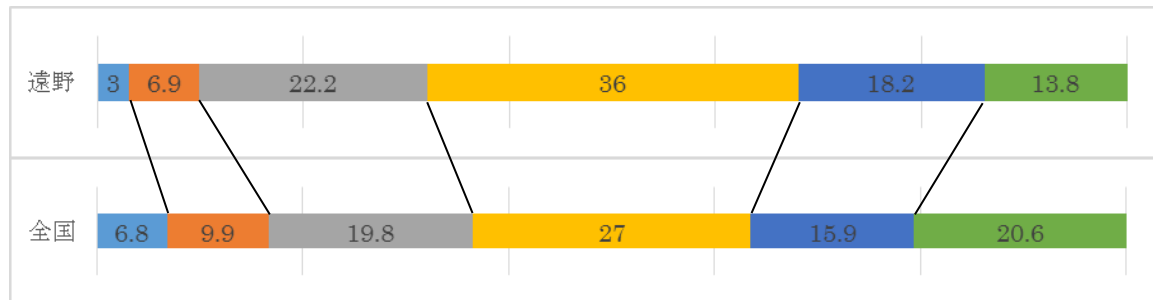
★ 朝食を毎日食べていますか。
★ 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。
★ 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。
★ 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。
★ 家で、学校の授業の復習をしていますか。
★ あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合って学級のきまりなどを決めていっていると思いますか。
★ 学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか。
★ 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。
★ 今住んでいる地域の行事に参加していますか。
★ 地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか。
★ 地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか。
★ テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか。
★ 学校のきまりを守っていますか。
★ 友達との約束を守っていますか。
★ 人が困っているときは、進んで助けていますか。
★ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
★ 「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか。
★ 「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか。
★ 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。
★ 前学年までに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか。
★ 前学年までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか。
★ 前学年までに受けた授業では、児童生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか。
★ 前学年までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んだと思いますか。
★ 前学年までに受けた授業で、児童生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか。
★ 前学年までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか。
★ 前学年までに受けた授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか。
★ 前学年までに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。
★ 前学年までに受けた授業では、ノートに学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか。
★ 前学年までに受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか。
★ 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。
★ 国語の勉強は好きですか。
★ 国語の授業内容はよく分かりますか。
★ 読書は好きですか。
★ 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。
★ 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。
★ 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか。
★ 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか。
★ 国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか。
★ 算数（数学）の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。

③ 読書の状況

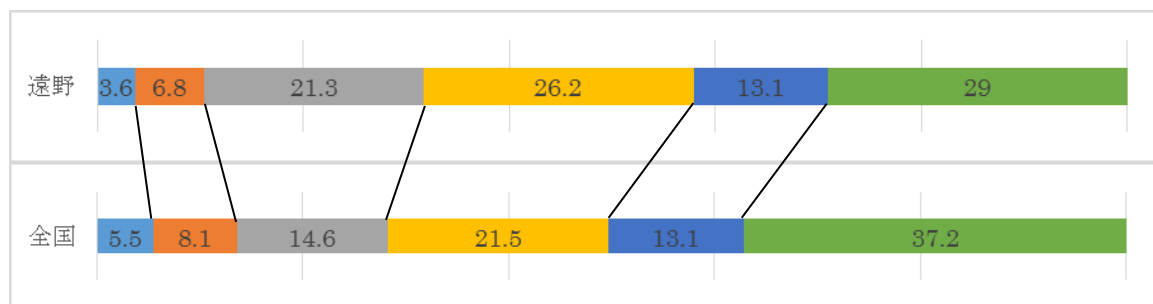
家や図書館で、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌除く）

※ 2時間～ 1時間～ 30分～ 10分～ ～10分 全くしない

ア 小学校



イ 中学校



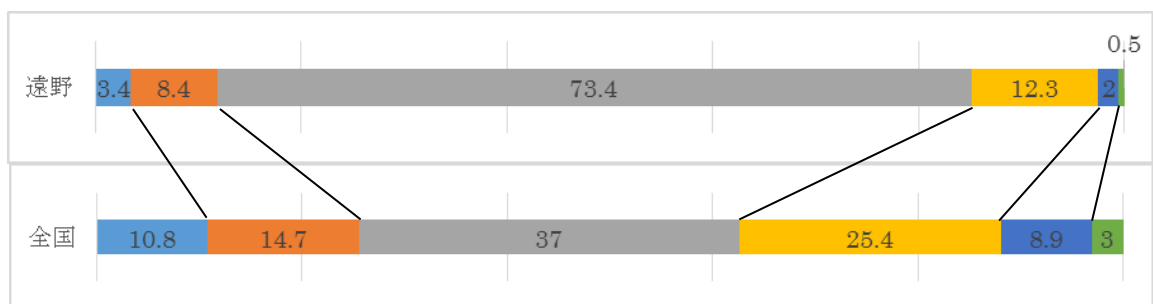
④ 校種別主な項目の状況

ア 小学校

◆ 学習に関する項目

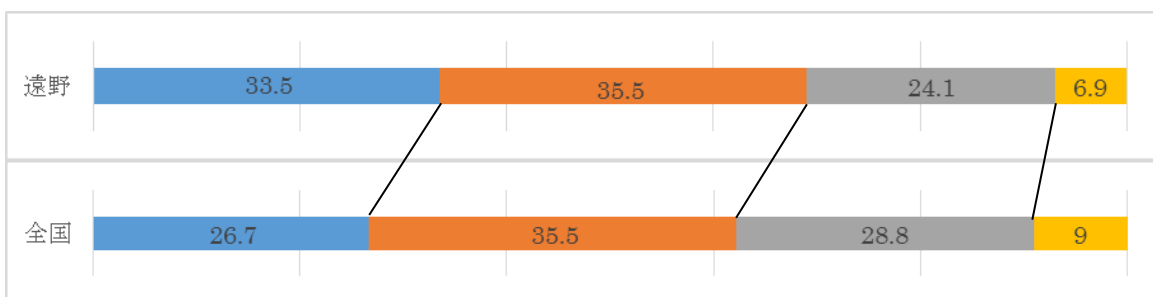
i 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師含む）

※ 3時間～ 2時間～ 1時間～ 30分～ 30分未満 全くしない



ii 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。

※ している どちらかといえば、している あまりしていない 全くしていない



iii 国語の勉強は大切だと思いますか。(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)

遠野市	90.1%	全国	91.3%
-----	-------	----	-------

iv 国語の授業の内容はよく分かりますか。(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)

遠野市	82.2%	全国	80.7%
-----	-------	----	-------

v 算数の勉強は大切だと思いますか。(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)

遠野市	91.6%	全国	91.9%
-----	-------	----	-------

vi 算数の授業の内容はよく分かりますか。(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)

遠野市	84.2%	全国	80.2%
-----	-------	----	-------

vii 家で、学校の宿題をしていますか。(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)

遠野市	96.1%	全国	97.0%
-----	-------	----	-------

viii 家で、学校の授業の予習をしていますか。(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)

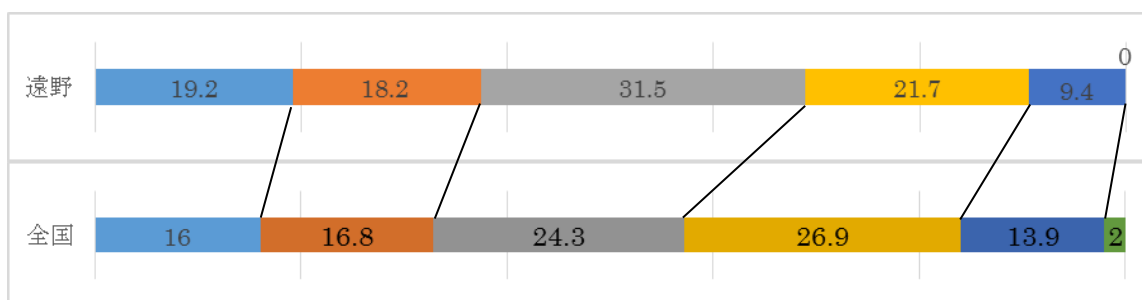
遠野市	44.3%	全国	43.3%
-----	-------	----	-------

ix 家で、学校の授業の復習をしていますか。(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)

遠野市	76.4%	全国	55.2%
-----	-------	----	-------

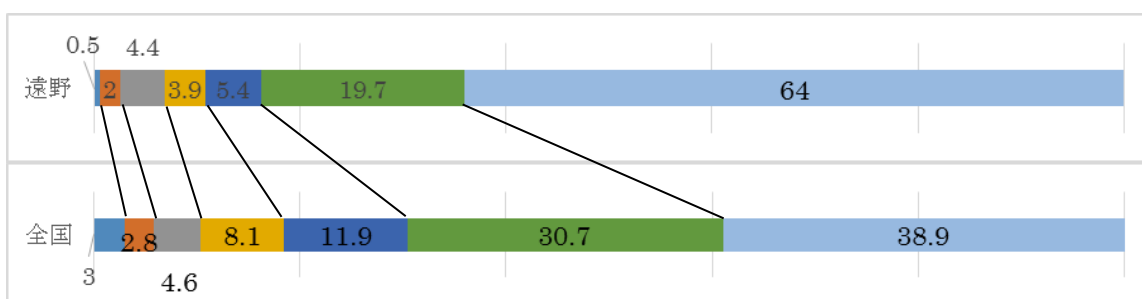
x 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。

※ 4時間～ 3時間～ 2時間～ 1時間～ ～1時間 全くしない



xi 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。

※ 4時間～ 3時間～ 2時間～ 1時間～ 30分～ ～30分 持っていない



◆ 遠野市の子もたちの良さが特に表れている項目

※「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」等、肯定的回答の割合が全国比5ポイント以上上回っている項目)

- i あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合って学級の決まりなどを決めていると思いますか。

遠野市	91.6%	全国	81.8%
-----	-------	----	-------

- ii 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことはありますか。

遠野市	92.6%	全国	86.3%
-----	-------	----	-------

- iii 今住んでいる地域の行事に参加していますか。

遠野市	80.8%	全国	67.9%
-----	-------	----	-------

- iv 地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか。

遠野市	67.0%	全国	60.7%
-----	-------	----	-------

- v テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか。

遠野市	91.6%	全国	86.4%
-----	-------	----	-------

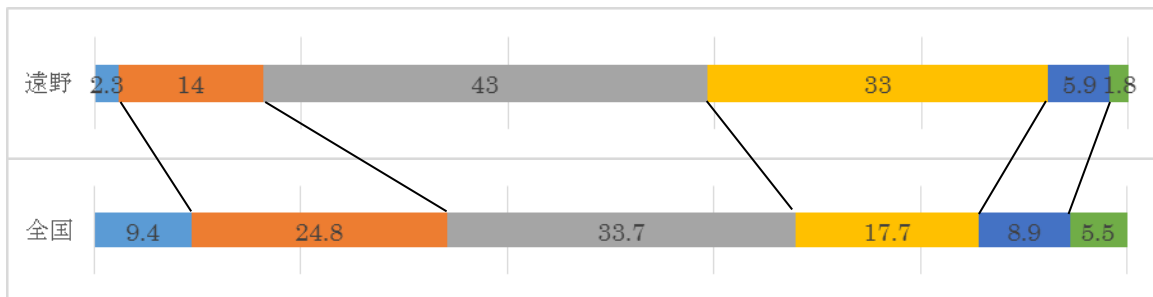


イ 中学校

◆ 学習に関する項目

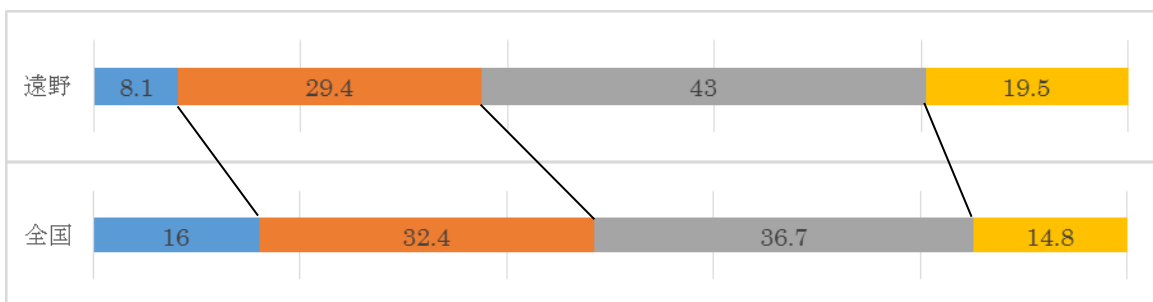
- i 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師含む）

※ ■ 3時間～ ■ 2時間～ ■ 1時間～ ■ 30分～ ■ 30分未満 ■ 全くしない



- ii 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。

※ ■ している ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない



- iii 国語の勉強は大切だと思いますか。（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）

遠野市	96.4%	全国	89.1%
-----	-------	----	-------

- iv 国語の授業の内容はよく分かりますか。（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）

遠野市	79.6%	全国	74.1%
-----	-------	----	-------

- v 数学の勉強は大切だと思いますか。（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）

遠野市	87.3%	全国	80.5%
-----	-------	----	-------

vi 数学の授業の内容はよく分かりますか。(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)

遠野市	57.0%	全国	69.4%
-----	-------	----	-------

vii 家で、学校の宿題をしていますか。(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)

遠野市	95.4%	全国	90.1%
-----	-------	----	-------

viii 家で、学校の授業の予習をしていますか。(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)

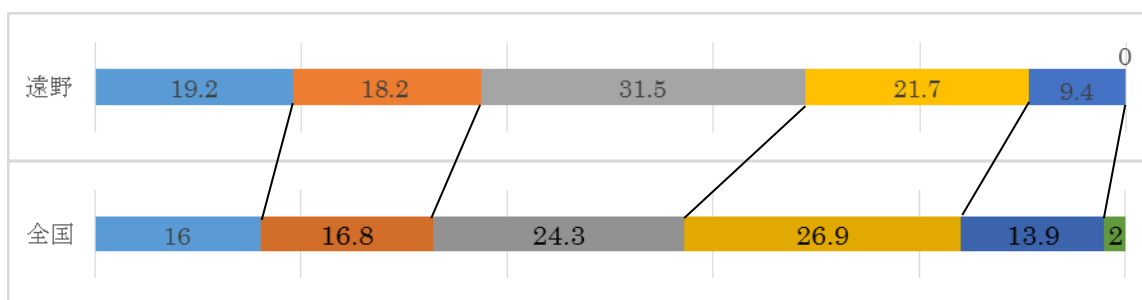
遠野市	14.1%	全国	34.2%
-----	-------	----	-------

ix 家で、学校の授業の復習をしていますか。(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)

遠野市	57.5%	全国	51.0%
-----	-------	----	-------

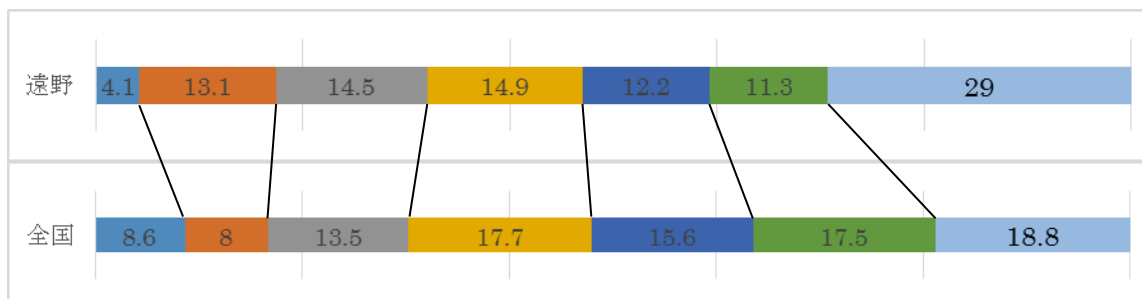
x 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。

※ 4時間～ 3時間～ 2時間～ 1時間～ ～1時間 全くしない



xi 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。

※ 4時間～ 3時間～ 2時間～ 1時間～ 30分～ ～30分 持っていない



◆ 遠野市の子どもたちの良さが特に表れている項目

※「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」等、肯定的回答の割合が全国比5ポイント以上上回っている項目)

i 家で学校の宿題をしていますか。

遠野市	95.4%	全国	90.1%
-----	-------	----	-------

ii 家で、学校の授業の復習をしていますか。

遠野市	57.5%	全国	51.0%
-----	-------	----	-------

iii 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。

遠野市	90.1%	全国	84.2%
-----	-------	----	-------

iv 今住んでいる地域の行事に参加していますか。

遠野市	80.1%	全国	45.2%
-----	-------	----	-------

v 地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか。

遠野市	72.4%	全国	65.8%
-----	-------	----	-------



7 改善に向けて

遠野市の学校教育目標である「知・徳・体のバランスのとれた人間形成～ふるさと遠野や日本，世界の発展に貢献する人材の育成～」に向けて，今回の調査により，学校，家庭，地域の努力により「徳」については，十分な成果をあげているととらえています。課題は，数学の結果から分かるとおり学習面です。積み重ねが大切であるとされている教科に課題があることから，小学校から中学校までの義務教育9年間での系統的，継続的な学習の取組が今後も重要であるととらえています。

以上のことから，下記の点に取り組んでいきます。

(1) 遠野市教育委員会では

- ・中学校区ごと，小中共通の課題に基づく授業実践及び授業交流会の実施（4年目の取り組み）
（学力向上対策会議，学力向上研究員部会，遠野市教育研究所教育研究発表会）
- ・各校への指導主事等による指導・助言
- ・学校公開研究会
- ・指導力向上のための各種研修会等の実施
- ・中学校に特定教科学習支援員を配置【新規】（平成28年度は数学）

(2) 各学校では

- ・授業改善（中学校区の研究，校内研究，一人一授業等）【重点】
- ・授業と家庭学習の連動【重点】
- ・結果の分析
- ・年度内での補習
- ・「まなびフェスト」等での家庭との連携の取組



8 各家庭・地域の皆さんへ

家庭や地域の中で，健全に成長している姿が調査の結果から伺えます。今後も，学校と連携し，子どもたちの健やかな成長のためにご協力をお願いします。

生活面では，小学生ではテレビの視聴時間，中学生ではテレビの視聴時間及び携帯電話やスマートフォンで通話やメール，インターネットを使用する時間が長い傾向があります。家庭内での生活について子どもと話し合ってみてください。同時に，家庭学習の時間についても話し合い，家庭学習時間の約束を子どもに決めさせてください。学習に対して前向きな気持ちが見受けられますので，その思いを行動につなげられるよう引き続き支援をお願いします。